

わたしのおとうと

茂呂 すみれ

「またけんかしてる！ すみれはおねえちゃんなんだからすこしはがまんしなさい！」

おとうととけんかをする、おかあさんもおとうさんも、いつもわたしのことをしかります。おとうとのほうがいじわるしたり、わたしのものをつけてつかったりしてるのに、おねえちゃんだからとか、まだ4さいなんだからといって、わたしのほうがまんすることがおいです。

わたしのおとうとは、「るい」といいます。わたしが2さいのときにうまれました。あかちゃんるときは、かわいいなとおもっていたのに、おしゃべりができるようになったり、いっしょにあそべるようになったりしてからはけんかをしてしまうことがおおくまりました。すぐにわたしのまねをしたり、じぶんのおもいどおりにならないことがあるとおおきなこえでないたり、レストランでごはんをたべるときもおかあさんのとなりがいいとさわりだりして、とつてもあたまにききます。

でも、わたしがおかあさんにしかられていないと、すぐにきがついて、ティッシュをもってきてくれます。おやつを食べるときも、かならずわたしのぶんをもってきてくれます。わたしとたくさんけんかをして「ねえねのことがだいすき」といつてくれます。

このまえ、サンダルをはいて、じやりみちをあるいているとき、ちいさいしがはいってしまったので、たちどまっていし

をとつていたら、おとうともいっしょにとまって、

「そういうときあるよねえ。るいもサンダルだといしはいっちゃうんだよ。」

いつてくれました。おとうさんとおかあさんはさきにあるいていつてしまったのに、おとうとはまだ4さいなのに、たちどまって、わたしがいしをとるのをまっつけてくれました。いつもはまねをされるのがいやなのに、そのときはいやなきもちではなく、うれしいきもちになりました。

おとうとけんかをする、おとうさんとおかあさんはよく、「おとなになって、おとうさんやおかあさんがいなくなつたら、いちばんにたよるのはきょうだいなんだから、おたがいなかよくするんだよ。」

いいいます。あたまにきているときは、そんなふうにはおもえないけれど、おとうとがやさしくしてくれたり、テレビをみていっしょにわらったり、たのしくあそんだりしているときは、おとうとがいてよかつたな、たのしいなとおもいます。そして、これからもなかよくしていこうというきもちになります。

わたしのおとうとは、なきむしで、わがままで、いつもおかあさんのとなりがいいというあまえんぼうの4さいです。だけど、ときどきわたしよりしっかりものの4さいになるときがあります。おとなになつても、だいすきなおとうとなかよくしたいです。